

# 人間科学部心理行動科学科課程表

2023年度入学生適用

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。  
 ○○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。  
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												必修	備考			
			1年			2年			3年			4年							
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位					
教養教育科目	人間的基礎	聖書を学ぶ	半期	●		2										◎	◎印—必修科目 ○印—選択必修科目		
		キリスト教の歴史と思想	半期		●	2										◎			
		キリスト教学A (キリスト教と倫理)	半期											2				◎	2単位選択必修。4単位まで卒業単位に参入することができる。
		キリスト教学B (キリスト教と宗教)	半期										2						
		キリスト教学C (キリスト教と文化)	半期										2						
		キリスト教学D (キリスト教と現代社会)	半期										2						
		共生社会と倫理	半期				○	○	2							◎			
		科学技術社会と倫理	半期				○	○	2							◎			
		よき社会生活のためにA (法律)	半期	○	○	2												◎	2単位選択必修
		よき社会生活のためにB (福祉)	半期	○	○	2													
	よき社会生活のためにC (健康)	半期	○	○	2														
	知的基礎	リーディング&ライティング	半期	○	○	2											◎	2単位選択必修	
		クリティカル・シンキング	半期	○	○	2													
		情報リテラシー	半期	○	○	2											◎	◎	2単位選択必修
		統計的思考の基礎	半期	○	○	2													
		科学的思考の基礎	半期	○	○	2													
	課題探究	キャリア形成の探究	半期	○	○	2											◎	6単位選択必修	
		東北学院史の探究	半期							○	○	2							
		データ活用による探究	半期				○	○	2										
		地域ボランティア活動の探究	半期	○	○	2													
		地域課題の探究	半期				○	○	2										
	課題探究演習	半期		●	2														
	人文系	哲学	半期	○	○	2											◎	4単位選択必修	
		芸術論	半期	○	○	2													
		文化の歴史	半期	○	○	2													
		音楽	半期	○	○	2													
		倫理学	半期	○	○	2													
		文学	半期	○	○	2													
歴史学		半期	○	○	2														
文化人類学		半期	○	○	2														
言語論		半期	○	○	2														
社会系	社会学	半期	○	○	2											◎	4単位選択必修		
	経営学	半期	○	○	2														
	経済学	半期	○	○	2														
	法学	半期	○	○	2														
	日本国憲法	半期	○	○	2														
	現代の政治	半期	○	○	2														
	地理学	半期	○	○	2														
	社会福祉論	半期	○	○	2														
	ジェンダー論	半期	○	○	2														
	東北地域論	半期	○	○	2														
	自然系	数理の科学	半期	○	○	2													◎
記号論理学		半期	○	○	2														
生命の科学		半期	○	○	2														
環境の科学		半期	○	○	2														
自然の科学		半期	○	○	2														
先端科学と技術		半期	○	○	2														
AI社会の基礎	半期	○	○	2															

●—原則としてその学期で開講。  
 ○○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。  
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												必修	備考
			1年			2年			3年			4年				
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位		
外国語科目	英語ⅠA	半期	●		1										◎	◎印—必修科目 } ◎印—選択必修科目  週2回開講 ※Bの選択にあたってはAと同一の外国語を履修すること
	英語ⅠB	半期		●	1										◎	
	英語ⅡA	半期				●		1							◎	
	英語ⅡB	半期					●		1						◎	
	ドイツ語ⅠA	半期	●		2										◎	
	フランス語ⅠA	半期	●		2											
	中国語ⅠA	半期	●		2											
	韓国・朝鮮語ⅠA	半期	●		2											
	ドイツ語ⅠB	半期		●	2											
	フランス語ⅠB	半期		●	2											
	中国語ⅠB	半期		●	2											
	韓国・朝鮮語ⅠB	半期		●	2											
	ドイツ語ⅡA	半期				●		1								
	フランス語ⅡA	半期				●		1								
	中国語ⅡA	半期				●		1								
	韓国・朝鮮語ⅡA	半期				●		1								
	ドイツ語コミュニケーションA	半期				●		1								
	フランス語コミュニケーションA	半期				●		1								
	中国語コミュニケーションA	半期				●		1								
	韓国・朝鮮語コミュニケーションA	半期				●		1								
	ドイツ語ⅡB	半期					●	1								
	フランス語ⅡB	半期					●	1								
	中国語ⅡB	半期					●	1								
	韓国・朝鮮語ⅡB	半期					●	1								
	ドイツ語コミュニケーションB	半期					●	1								
	フランス語コミュニケーションB	半期					●	1								
	中国語コミュニケーションB	半期					●	1								
	韓国・朝鮮語コミュニケーションB	半期					●	1								
	ドイツ語ⅢA	半期							●		1					
	フランス語ⅢA	半期							●		1					
	中国語ⅢA	半期							●		1					
	韓国・朝鮮語ⅢA	半期							●		1					
	ドイツ語ⅢB	半期								●		1				
フランス語ⅢB	半期								●		1					
中国語ⅢB	半期								●		1					
韓国・朝鮮語ⅢB	半期								●		1					
第3類	ベーシック英語	半期	●		1										「ベーシック英語」履修を指示された者は、「ベーシック英語」履修の後に1年後期に開講される「英語ⅠA」を履修すること。ただし、「ベーシック英語」は進級・卒業単位に含まない。 週2回開講	
	英語コミュニケーション	半期	○	○	2											
	英語ⅢA	半期						●		1						
	英語ⅢB	半期							●		1					
保健体育科目	スポーツ実技A	半期	○	○	1											
	スポーツ実技B	半期	○	○	1											
	体育講義	半期	○	○	2											
留学科目	海外研究A	通年						4								
	海外研究B	半期			2									4単位まで卒業単位に参入		
	海外研究C	半期			1											
外国人及び帰国生科目	日本語ⅠA	半期	●		1											
	日本語ⅠB	半期		●	1											
	日本語ⅡA	半期				●		1								
	日本語ⅡB	半期					●		1							

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。  
 ○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。  
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												必修	備考		
			1年			2年			3年			4年						
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位				
専門 科目	心理学概論	半期	●		2											◎	◎印—必修科目 ○印—選択必修科目	
	臨床心理学概論	半期		●	2											◎		
	社会学概論	半期	●		2											◎		
	社会調査基礎論	半期		●	2											◎		
	健康と身体活動の基礎A	半期	●		2											◎		
	健康と身体活動の基礎B	半期		●	2											◎		
	研究 方法 科目	基礎統計学	半期	●		2											◎	8科目から2科目4単位以上を 修得すること
		心理学研究法	半期				●	2										
		心理学統計法	半期					●	2									
		社会調査法	半期					●	2									
		社会統計学	半期					●	2									
		多変量解析	半期						●	2								
		運動学研究法	半期						●	2								
	運動学統計法	半期							●	2								
	実験・ 実習 科目	心理学実験	半期					●	2								◎	6科目から2科目4単位以上を 修得すること
		心理的アセスメント	半期						●	2								
		社会調査実習A	半期						●	2								
		社会調査実習B	半期							●	2							
		運動学実験実習A	半期							●	2							
		運動学実験実習B	半期								●	2						
	演習 科目	基礎演習A	半期	●		2											◎	
		基礎演習B	半期		●	2											◎	
		演習A	半期							●	2						◎	
		演習B	半期								●	2					◎	
		特殊研究	半期									●	2					
		文献講読A	半期									●	2					
		文献講読B	半期										●	2				
		卒業研究A	半期											●	2		◎	
		卒業研究B	半期												●	2	◎	
	臨 床	障害者・障害児心理学	半期							●	2						◎	
		人体の構造と機能及び疾病	半期					●	2								◎	
		健康・医療心理学	半期								●	2						
		福祉心理学	半期									●	2					
		精神疾患とその治療	半期									●	2					
		衛生公衆衛生学	半期										●	2			◎	
		学校保健Ⅰ	半期					●	2								◎	
学校保健Ⅱ		半期								●	2					◎		
学校安全及び緊急処置		半期										●	2					
心理学的支援法		半期						●	2									
心理行動科学特殊講義A	半期										●	2						
個 人	知覚・認知心理学	半期					●	2								◎	2科目のうち、1科目2単位を 必修とする。	
	学習・言語心理学	半期					●	2										
	感情・人格心理学	半期						●	2									
	神経・生理心理学	半期									●	2						
	発達心理学	半期						●	2									
	意思決定の科学	半期										●	2					
	スポーツ心理学Ⅰ	半期	●		2											◎		
	スポーツ心理学Ⅱ	半期					●	2								◎	3科目のうち、1科目2単位を 必修とする。	
	スポーツ生理学	半期	●		2													
	運動方法学	半期		●	2													
	心理行動科学特殊講義B	半期										●	2					

※開講学年前期後期欄 { ●—原則としてその学期で開講。  
 ○—原則として前期、後期の両方で開講。どちらか一方を履修。  
 空欄—開講期はシラバス・履修要項を参照。

区分	科目名	開講期	開講学年												必修	備考		
			1年			2年			3年			4年						
			前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位				
専門科目	社会	社会・集団・家族心理学	半期				●		2							◎		
		教育・学校心理学	半期				●		2							◎		
		ジェンダーの社会学	半期				●		2							◎		
		現代社会と心理	半期					●		2						◎		
		産業・組織心理学	半期				●		2									
		司法・犯罪心理学	半期								●		2					
		関係行政論	半期					●		2								
		スポーツ社会学	半期		●	2												
		スポーツマネジメント	半期					●		2								
		不平等の社会学	半期								●		2					
		家族社会学	半期								●		2					
心理行動科学特殊講義C	半期								●		2							
免許および資格関係科目	公認心理師に関する科目	公認心理師の職責	半期		●	2											◇印は、教育職員免許状取得に必修。 ※印は、取得しようとする免許の種類と教科によって履修方法が異なる。(詳細は大学要覧「教職課程」を参照のこと) 教育職員免許状を得るための履修方法は、大学要覧(教職課程)を参照のこと。	
		心理演習	半期						●		2							
		心理実習	通年							○	○	2						
	教員免許状の教科に関する科目	体育実技Ⅰ(陸上競技・水泳)	半期				●		1									
		体育実技Ⅱ(体づくり運動・器械運動・ダンス)	半期					●	1									
		体育実技Ⅲ(武道)	半期							●		1						
		体育実技Ⅳ(球技)	半期								●	1						
	教職等に関する科目	教育基礎論	半期	●		2												◇
		現代教職論	半期	○	○	2												◇
		教育の制度と経営	半期		●	2												◇
		特別支援教育論	半期								○	○	2					◇
		教育課程論	半期				●		2									◇
		道徳教育の理論と方法	半期				○	○	2									◇
		特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法	半期								○	○	2					※
		教育の方法と技術	半期				○	○	2									◇
		ICT活用の理論と方法	半期								○	○	2					◇
		生徒指導・進路指導の理論と方法	半期				○	○	2									◇
		教育相談の理論と方法	半期				○	○	2									◇
		保健体育科教育法(概論)	半期				●		2									※
保健体育科教育法(理論)	半期					●	2								※			
保健体育科教育法(実践)	半期							●		2					※			
保健体育科教育法(応用)	半期								●	2					※			
教育実習Ⅰ	通年									○	○	3			◇			
教育実習Ⅱ	通年									○	○	2			※			
教職実践演習(中・高)	半期										●	2			◇			
介護体験実習	通年								○	○	2				※			

# 心理行動科学科卒業要件

・卒業に必要な最低修得単位数

科目区分			単 位		
教養教育科目	TGベーシック	人間的基礎	10	22	34
		知的基礎	6		
		課題探究	6		
	共通教養科目	人文系	4	12	
		社会系	4		
		自然系	4		
外国語科目	第1類		4	6	
	第2類		2		
専門科目	専門基盤科目		12	74	
	研究方法科目		4		
	実験・実習科目		4		
	演習科目		12		
	臨床 個人 社会	必修科目			24
		選択したコースより			10
		他のコースより			8
教養教育科目 外国語科目 第2類・第3類（「ベーシック英語」を除く） 保健体育科目 留学科目（4単位まで） 専門科目 他学部・他学科開講科目 協定を締結している他大学開講科目			10		
合 計			124		

## 〈カリキュラムマップの見方〉

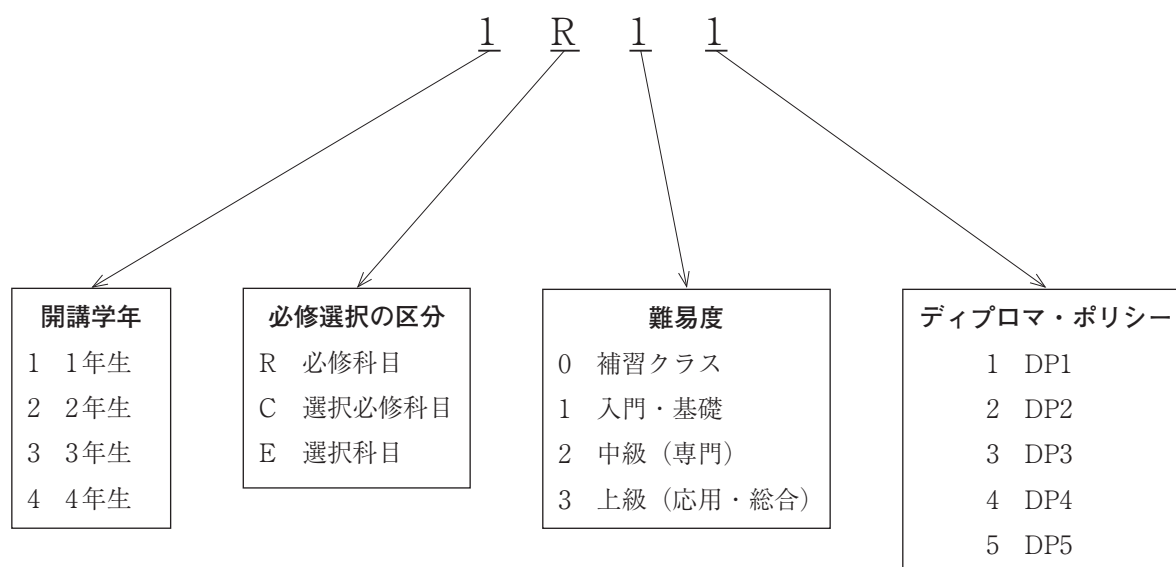
カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が、全学共通の5つの学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）のうちどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目について◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。なお、DP5の細項目は、各学科の専門科目の学修によって達成を目指している方針・目標となります。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解し、履修の順序についてもしっかりと計画を立てておくことが大切です。

## 〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。

右端の「ディプロマ・ポリシー」とは、その科目が最も達成しようとしている方針（DP）がどれかを示しています。



(1) 人間科学部 心理行動科学科 カリキュラムマップ (学位授与の方針との対応)

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針 (ディプロマ・ポリシー)				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる (現代をよく 生きる)	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる(汎 用的技能・能力)	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる (課題発見・ 解決)	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる (多面的 認識、思考)	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる (専門分野 の学修)
1R11	聖書を学ぶ	◎				
1R11	キリスト教の歴史と思想	◎				
3C21	キリスト教学 A (キリスト教と倫理)	◎				
3C21	キリスト教学 B (キリスト教と宗教)	◎				
3C21	キリスト教学 C (キリスト教と文化)	◎				
3C21	キリスト教学 D (キリスト教と現代社会)	◎				
2C11	共生社会と倫理	◎			○	
2C11	科学技術社会と倫理	◎			○	
1C11	よき社会生活のために A (法律)	◎			○	
1C11	よき社会生活のために B (福祉)	◎			○	
1C11	よき社会生活のために C (健康)	◎			○	
1C12	リーディング&ライティング		◎			
1C12	クリティカル・シンキング		◎			
1R12	情報リテラシー		◎		○	
1C12	統計的思考の基礎		◎		○	
1C12	科学的思考の基礎		◎		○	
1C13	キャリア形成の探究	○		◎		
3C13	東北学院史の探究	○		◎		
2C23	データ活用による探究		○	◎		
1C13	地域ボランティア活動の探究	○		◎		
2C23	地域課題の探究		○	◎	○	
1C23	課題探究演習		○	◎		
1C14	哲学				◎	
1C14	芸術論	○			◎	
1C14	文化の歴史				◎	
1C14	音楽	○			◎	
1C14	倫理学				◎	
1C14	文学				◎	
1C14	歴史学	○			◎	
1C14	文化人類学	○			◎	
1C14	言語論				◎	
1C14	社会学				◎	
1C14	経営学				◎	
1C14	経済学				◎	
1C14	法学				◎	
1C14	日本国憲法	○			◎	
1C14	現代の政治	○			◎	
1C14	地理学				◎	
1C14	社会福祉論				◎	
1C14	ジェンダー論				◎	
1C14	東北地域論				◎	
1C14	数理の科学				◎	
1C14	記号論理学		○		◎	
1C14	生命の科学				◎	
1C14	環境の科学				◎	
1C14	自然の科学				◎	
1C14	先端科学と技術				◎	
1C14	AI 社会の基礎		○		◎	
1R12	英語 I A		◎		○	
1R12	英語 I B		◎		○	
2R22	英語 II A		◎		○	
2R22	英語 II B		◎		○	
1C12	ドイツ語 I A		◎		○	
1C12	フランス語 I A		◎		○	
1C12	中国語 I A		◎		○	
1C12	韓国・朝鮮語 I A		◎		○	
1C12	ドイツ語 I B		◎		○	

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる（現代をよく 生きる）	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる（汎 用的技能・能力）	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる（課題発見・ 解決）	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる（多面的 認識、思考）	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる（専門分野 の学修）
1C12	フランス語Ⅰ B		○		○	
1C12	中国語Ⅰ B		○		○	
1C12	韓国・朝鮮語Ⅰ B		○		○	
2E22	ドイツ語Ⅱ A		○		○	
2E22	フランス語Ⅱ A		○		○	
2E22	中国語Ⅱ A		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語Ⅱ A		○		○	
2E22	ドイツ語コミュニケーション A		○		○	
2E22	フランス語コミュニケーション A		○		○	
2E22	中国語コミュニケーション A		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語コミュニケーション A		○		○	
2E22	ドイツ語Ⅱ B		○		○	
2E22	フランス語Ⅱ B		○		○	
2E22	中国語Ⅱ B		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語Ⅱ B		○		○	
2E22	ドイツ語コミュニケーション B		○		○	
2E22	フランス語コミュニケーション B		○		○	
2E22	中国語コミュニケーション B		○		○	
2E22	韓国・朝鮮語コミュニケーション B		○		○	
3E32	ドイツ語Ⅲ A		○		○	
3E32	フランス語Ⅲ A		○		○	
3E32	中国語Ⅲ A		○		○	
3E32	韓国・朝鮮語Ⅲ A		○		○	
3E32	ドイツ語Ⅲ B		○		○	
3E32	フランス語Ⅲ B		○		○	
3E32	中国語Ⅲ B		○		○	
3E32	韓国・朝鮮語Ⅲ B		○		○	
1E02	ベーシック英語		○		○	
1E12	英語コミュニケーション		○		○	
3E32	英語Ⅲ A		○		○	
3E32	英語Ⅲ B		○		○	
1E11	スポーツ実技 A	○				
1E11	スポーツ実技 B	○				
1E12	体育講義		○			
2E32	海外研究 A		○		○	
1E22	海外研究 B		○		○	
1E12	海外研究 C		○		○	
1E12	日本語Ⅰ A		○			
1E12	日本語Ⅰ B		○			
2E12	日本語Ⅱ A		○			
2E12	日本語Ⅱ B		○			
1R15	心理学概論					○
1R15	臨床心理学概論					○
1R15	社会学概論					○
1R15	社会調査基礎論					○
1R15	健康と身体活動の基礎 A					○
1R15	健康と身体活動の基礎 B					○
1C15	基礎統計学					○
2C25	心理学研究法					○
2C25	心理学統計法					○
2C25	社会調査法					○
2C25	社会統計学					○
2C25	多変量解析					○
2C25	運動学研究法					○
2C25	運動学統計法					○
2C25	心理学実験					○
2C25	心理的アセスメント					○



ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えをふまえた考察ができる（現代をよく生きる）	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる（汎用的技能・能力）	課題を発見し、その解決のために学修成果を活用して取り組むことができる（課題発見・解決）	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる（多面的認識、思考）	専攻分野の学修成果を活用及び説明できる（専門分野の学修）
2C25	社会調査実習 A					◎
2C25	社会調査実習 B					◎
2C25	運動学実験実習 A					◎
2C25	運動学実験実習 B					◎
1R15	基礎演習 A			○		◎
1R15	基礎演習 B			○		◎
3R33	演習 A			◎		○
3R33	演習 B			◎		○
3E33	特殊研究			◎		○
3E22	文献講読 A		◎		○	
3E22	文献講読 B		◎		○	
4R33	卒業研究 A			◎		○
4R33	卒業研究 B			◎		○
3R25	障害者・障害児心理学					◎
2R25	人体の構造と機能及び疾病					◎
3E25	健康・医療心理学					◎
3E25	福祉心理学					◎
3E25	精神疾患とその治療					◎
3R25	衛生公衆衛生学					◎
2R25	学校保健 I					◎
3R25	学校保健 II					◎
3E25	学校安全及び緊急処置					◎
2E25	心理学的支援法					◎
3E35	心理行動科学特殊講義 A					◎
2C25	知覚・認知心理学					◎
2C25	学習・言語心理学					◎
2E25	感情・人格心理学					◎
3E25	神経・生理心理学					◎
2E25	発達心理学					◎
3E25	意思決定の科学					◎
1R25	スポーツ心理学 I					◎
2C25	スポーツ心理学 II					◎
1C25	スポーツ生理学					◎
1C25	運動方法学					◎
3E35	心理行動科学特殊講義 B					◎
2R25	社会・集団・家族心理学					◎
2R25	教育・学校心理学					◎
2R25	ジェンダーの社会学					◎
2R25	現代社会と心理					◎
2E25	産業・組織心理学					◎
3E25	司法・犯罪心理学					◎
2E25	関係行政論					◎
1E25	スポーツ社会学					◎
2E25	スポーツマネジメント					◎
3E25	不平等の社会学					◎
3E25	家族社会学					◎
3E25	心理行動科学特殊講義 C					◎
1E25	公認心理師の職責					◎
3E35	心理演習			○		◎
3E33	心理実習			◎		○
2E24	体育実技 I（陸上競技・水泳）				◎	
2E24	体育実技 II（体づくり運動・器械運動・ダンス）				◎	
3E24	体育実技 III（武道）				◎	
3E24	体育実技 IV（球技）				◎	
1E14	教育基礎論				◎	
1E14	現代教職論				◎	
1E14	教育の制度と経営				◎	

ナンバリング	科目名	全学共通の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）				
		1	2	3	4	5
		現代をよく生きる ことについて、キ リスト教の教えを ふまえた考察がで きる（現代をよく 生きる）	高度な知的活動に 必要な汎用的諸技 能・能力及び英語 力を活用できる（汎 用的技能・能力）	課題を発見し、そ の解決のために学 修成果を活用して 取り組むことがで きる（課題発見・ 解決）	ものごとを広く多 様な視点から認識 し、異なる認識・ 思考方法や価値観 に理解を示すこと ができる（多面的 認識、思考）	専攻分野の学修成 果を活用及び説明 できる（専門分野 の学修）
3E34	特別支援教育論				◎	
2E24	教育課程論				◎	
2E24	道徳教育の理論と方法				◎	
3E34	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法				◎	
2E24	教育の方法と技術				◎	
3E34	ICT 活用の理論と方法				◎	
2E24	生徒指導・進路指導の理論と方法				◎	
2E24	教育相談の理論と方法				◎	
2E35	保健体育科教育法（概論）				○	◎
2E35	保健体育科教育法（理論）				○	◎
3E35	保健体育科教育法（実践）				○	◎
3E35	保健体育科教育法（応用）				○	◎
4E33	教育実習Ⅰ			◎		○
4E33	教育実習Ⅱ			◎		○
4E33	教職実践演習（中・高）			◎	○	
3E24	介護体験実習				◎	

## (2) 人間科学部 心理行動科学科 カリキュラムマップ (専門分野の学修成果との対応)

ナンバリング	専門科目	専門科目が目指す学修成果		
		1	2	3
		人間の行動とその心理過程、及びそれらを規定する諸要因の研究に特有の実証的手法を習得することで、人間と社会に関連するデータを分析できる。(実証的手法の習得)	人間の行動とその心理過程、及びそれらを規定する諸要因に関する最新の理論に基づき、人間と社会を多面的に捉え批判的に考えることができる。(批判的思考)	実習・演習および卒業研究などを通して、人間と社会における課題を自ら発見・設定し、その解決方法を提案することができる。(課題発見と解決)
1R15	心理学概論		◎	
1R15	臨床心理学概論		◎	
1R15	社会学概論		◎	
1R15	社会調査基礎論		◎	
1R15	健康と身体活動の基礎 A		◎	
1R15	健康と身体活動の基礎 B		◎	
1C15	基礎統計学	◎	○	
2C25	心理学研究法	◎	○	
2C25	心理学統計法	◎	○	
2C25	社会調査法	◎	○	
2C25	社会統計学	◎	○	
2C25	多変量解析	◎	○	
2C25	運動学研究法	◎	○	
2C25	運動学統計法	◎	○	
2C25	心理学実験	◎	○	
2C25	心理的アセスメント	◎	○	
2C25	社会調査実習 A	○		◎
2C25	社会調査実習 B	○		◎
2C25	運動学実験実習 A	◎		○
2C25	運動学実験実習 B	◎		○
1R15	基礎演習 A		◎	○
1R15	基礎演習 B	◎		○
3R33	演習 A		○	◎
3R33	演習 B		○	◎
3E33	特殊研究		○	◎
3E22	文献講読 A	○	◎	
3E22	文献講読 B	○	◎	
4R33	卒業研究 A		○	◎
4R33	卒業研究 B		○	◎
3R25	障害者・障害児心理学		◎	
2R25	人体の構造と機能及び疾病		◎	
3E25	健康・医療心理学		◎	
3E25	福祉心理学		◎	
3E25	精神疾患とその治療		◎	
3R25	衛生公衆衛生学		◎	
2R25	学校保健 I		◎	
3R25	学校保健 II		◎	
3E25	学校安全及び緊急処置		◎	
2E25	心理学的支援法		◎	
3E35	心理行動科学特殊講義 A		◎	
2C25	知覚・認知心理学		◎	
2C25	学習・言語心理学		◎	
2E25	感情・人格心理学		◎	
3E25	神経・生理心理学		◎	
2E25	発達心理学		◎	
3E25	意思決定の科学		◎	
1R25	スポーツ心理学 I		◎	
2C25	スポーツ心理学 II		◎	
1C25	スポーツ生理学		◎	
1C25	運動方法学		◎	
3E35	心理行動科学特殊講義 B		◎	
2R25	社会・集団・家族心理学		◎	
2R25	教育・学校心理学		◎	
2R25	ジェンダーの社会学		◎	
2R25	現代社会と心理		◎	

ナンバリング	専門科目	専門科目が目指す学修成果		
		1	2	3
		人間の行動とその心理過程、及びそれらを規定する諸要因の研究に特有の実証的手法を習得することで、人間と社会に関連するデータを分析できる。(実証的手法の習得)	人間の行動とその心理過程、及びそれらを規定する諸要因に関する最新の理論に基づき、人間と社会を多面的に捉え批判的に考えることができる。(批判的思考)	実習・演習および卒業研究などを通して、人間と社会における課題を自ら発見・設定し、その解決方法を提案することができる。(課題発見と解決)
2E25	産業・組織心理学		◎	
3E25	司法・犯罪心理学		◎	
2E25	関係行政論		◎	
1E25	スポーツ社会学		◎	
2E25	スポーツマネジメント		◎	
3E25	不平等の社会学		◎	
3E25	家族社会学		◎	
3E25	心理行動科学特殊講義C		◎	
1E25	公認心理師の職責		◎	
3E35	心理演習		◎	○
3E33	心理実習		○	◎
2E24	体育実技Ⅰ(陸上競技・水泳)		◎	
2E24	体育実技Ⅱ(体づくり運動・器械運動・ダンス)		◎	
3E24	体育実技Ⅲ(武道)		◎	
3E24	体育実技Ⅳ(球技)		◎	